

新城(樋詰城)(長崎県壱岐市新城東触)(新城神社)

文永11年(1274年)10月14日、壱岐の北西海岸から上陸した元軍と戦った壱岐守護代平景隆の本陣があった。城というほどの規模ではなく、館程度のものであり、防御力がどれだけあったのかは疑問であるが、伝承では、景隆はこの城に退却し、15日自刃したと伝えられている。今日は新城神社の境内となっており、地形的にやや盛り上がっていることから館があったことは察することができる。新城神社境内には平景隆の墓がある。また近くには文永の役新城古戦場の千人塚がある。

による

